



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社アイレックス 上場取引所 東
 コード番号 6944 URL <http://www.airex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 譲治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 千葉 繁樹 (TEL) 03 (3419) 5111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,447	1.5	25	△81.2	30	△78.5	43	△71.1
29年3月期第3四半期	2,411	9.4	135	—	140	—	149	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 57百万円(△67.1%) 29年3月期第3四半期 174百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	1.47	0.85
29年3月期第3四半期	5.07	2.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,031	951	46.9
29年3月期	1,899	894	47.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 951百万円 29年3月期 894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	—	150	△44.4	160	△42.9	150	△44.4	5.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名) アイレックスシステム株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	29,417,400株	29年3月期	29,417,400株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	9,004株	29年3月期	9,079株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	29,408,383株	29年3月期3Q	29,408,544株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業分野である情報サービス業界におきましては、引き続き、自動車関連、IoT、ビッグデータ、AIなどの活用による技術革新が進む中、IT投資に対する需要が増加しており、これらの要因を背景として堅調に推移しております。

このような事業環境下、当社グループでは、強みである組込み系ソフト開発、インフラ構築、IoT領域、さらには第5世代移動通信システム(5G)に注力し、売上高拡大と利益率向上に向けた取り組みと共に、技術者の確保・人材の育成を図ってまいりました。

また、当社におきましては、1月24日に当社グループの中期経営計画を発表いたしました。その中で営業基本戦略、人事人材戦略の二つの柱を中心にした経営改革を行っていき、3年後の2021年3月期には連結売上高45億円、連結経常利益4億円を目指します。

一方、当社は、退職給付債務の算定にあたり、従来簡便法を採用しておりましたが、子会社の吸収合併に伴い、第1四半期連結会計期間より計算方法を原則法に変更しております。この変更により、平成30年3月期第1四半期個別決算及び連結決算において、退職給付費用として105,281千円を売上原価に、16,541千円を販管費及び一般管理費にそれぞれ計上いたしました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,447,142千円(前年同期比1.5%増加)、営業利益25,397千円(前年同期比81.2%減少)、経常利益30,251千円(前年同期比78.5%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、43,170千円(前年同期比71.1%減少)となりました。

なお、当社グループの事業は、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は2,031,203千円であり、前連結会計年度末の1,899,729千円に比べ、131,473千円増加しています。主な内訳は、現金及び預金193,984千円の増加、受取手形及び売掛金55,707千円の減少及び預け金41,292千円の増加であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は1,079,385千円であり、前連結会計年度末の1,005,323千円に比べ、74,062千円増加しています。主な内訳は、支払手形及び買掛金40,607千円の減少、賞与引当金44,545千円の減少及び退職給付に係る負債149,354千円の増加であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は951,817千円であり、前連結会計年度末の894,406千円に比べ、57,411千円増加しています。これは、その他有価証券評価差額金14,224千円の増加及び当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益43,170千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の通期における修正につきましては、平成29年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、個別業績予想の通期における修正につきましてもあわせてご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	884,111	1,078,096
受取手形及び売掛金	529,174	473,467
仕掛品	12,658	7,959
預け金	127,124	168,417
その他	42,913	14,704
流動資産合計	1,595,983	1,742,644
固定資産		
有形固定資産	74,655	76,524
無形固定資産	904	904
投資その他の資産		
投資有価証券	204,048	189,752
その他	26,057	23,296
貸倒引当金	△1,919	△1,919
投資その他の資産合計	228,186	211,129
固定資産合計	303,746	288,559
資産合計	1,899,729	2,031,203
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,910	93,302
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	10,644	1,128
賞与引当金	97,022	52,476
その他	123,233	140,523
流動負債合計	564,810	487,431
固定負債		
関係会社長期借入金	190,000	190,000
役員退職慰労引当金	4,118	4,869
退職給付に係る負債	238,952	388,307
その他	7,441	8,777
固定負債合計	440,513	591,954
負債合計	1,005,323	1,079,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	35,710	35,718
利益剰余金	738,960	782,130
自己株式	△956	△948
株主資本合計	853,713	896,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,692	54,917
その他の包括利益累計額合計	40,692	54,917
純資産合計	894,406	951,817
負債純資産合計	1,899,729	2,031,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,411,553	2,447,142
売上原価	1,981,897	2,096,863
売上総利益	429,655	350,278
販売費及び一般管理費	294,344	324,880
営業利益	135,311	25,397
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	3,081	3,352
受取賃貸料	3,620	3,249
その他	585	52
営業外収益合計	7,292	6,659
営業外費用		
支払利息	1,807	1,797
その他	-	9
営業外費用合計	1,807	1,806
経常利益	140,796	30,251
特別利益		
投資有価証券売却益	20,065	26,815
特別利益合計	20,065	26,815
特別損失		
投資有価証券売却損	-	140
固定資産除却損	-	68
特別損失合計	-	208
税金等調整前四半期純利益	160,862	56,857
法人税等	11,631	13,687
四半期純利益	149,230	43,170
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,230	43,170

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	149,230	43,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,210	14,224
その他の包括利益合計	25,210	14,224
四半期包括利益	174,440	57,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,440	57,394
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

前連結会計年度末において、当社の100%子会社であったアイレックスシステム株式会社は、平成29年4月1日付で、当社を存続会社とした吸収合併を行ったことに伴い、消滅いたしました。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社グループは、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とするシステム事業という単一セグメントであります。会社別の利益分析等は行っておりますが、事業戦略の意思決定、経営資源の配分等は当社グループ全体で行っているため、セグメント情報の開示は省略しております。

(追加情報)

当社は、退職給付債務の算定にあたり、従来簡便法を採用しておりましたが、平成29年4月1日付グループ内組織再編による子会社との合併に伴い、第1四半期連結会計期間より計算方法を原則法に変更しております。

当該事象により、従来と比べ、当第3四半期連結累計期間における退職給付に係る負債が121,822千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は121,822千円減少しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、平成30年1月24日開催の取締役会において、当社を存続会社として、当社の100%子会社である株式会社アイレックスインダストリアルソリューションズを吸収合併(以下、「本合併」といいます。)を行うことを決議し、平成30年4月1日付で吸収合併いたします。

1. 取引の概要

①結合当事企業の名称及び当該事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 株式会社アイレックス

事業内容 システム開発

(吸収合併消滅会社)

名称 株式会社アイレックスインダストリアルソリューションズ

事業内容 システム開発

②企業結合日

平成30年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社アイレックスインダストリアルソリューションズを消滅会社とする吸収合併であり、本合併により、株式会社アイレックスインダストリアルソリューションズは解散いたします。

④結合後企業の名称

株式会社アイレックス

⑤その他取引の概要に関する事項

当社と子会社株式会社アイレックスインダストリアルソリューションズとの合併により、両者の得意分野を統合し、事業基盤のさらなる拡大を図ると共に、経営資源の効率化と営業活動強化を目的としております。なお、本合併は、当社の100%子会社との吸収合併であるため、合併に際して株式の割当て、その他金銭の交付は行いません。